



2  
1  
2  
1

東 き

東

⑧

ひがし

東

トウ

ひがし

東にしと西

とうかい 東海道ド

とうきょう 東京きょうと

とうぐう 東宮ごしよ

とうけい 東経せいけい

とうごく 東国さいごく

とうざい 東西なんぼく

とうじょう 東上さいか

とうふう 東風せいふう

とうほう 東方せいほう

とうよう 東洋せいよう

かんとく 関東かんさい

きょくとう 極東くにの国、日本にっぽん

きんとう 中近東ちゅう

ちゅうとう 中東せきゆの石油

ばんどう 坂東たろう太郎 = 利根川とねがわ

竹  
答

たけかんむり

答

⑫

こた (える)

竹  
答

トウ

こたえ もんだい問題と**答え**  
こたえ こた答だえを出す  
  
こたえる もんだい問題に**答える**

とうあん **答案**もんだいともんだい問題  
とうしん **答申**あん案でが出る  
とうじ **答辞**・送辞そうじ  
とうれい **答礼**する

おうとう **応答**がない  
かくとう **確答**できる  
ひっとう **筆答**・口答こうとう  
へんとう **返答**する  
めいとう **名答**！  
もんどう **問答**むよう無用！

2  
1  
2  
3

頭

お  
お  
か  
い

頭

⑩

あ  
た  
ま  
・  
か  
し  
ら

頭

ト  
ウ  
・  
ズ  
・  
ト

あたま 頭かを刈る

あたまかず 頭数をそろえる

いしあたま この石頭め!

かしら お頭 = ポス  
はたがしら いっぽう一方の旗頭となる

とうかく 頭角あらを現あらわす

とうちゅう 頭注・脚注きゃくちゅう

とうどり 銀行ぎんこうの頭取

とうぶ 頭部・胸部・腹部きょうぶ ふくぶ

とうりょう 頭領 = 大工だいこうの頭かしら

えきとう 駅頭たに立たって演説えんぜつ

かんとく 卷頭げん言

がいとう 街頭がいとうえんぜつ街灯演説

きょうとう 教頭・校長こうちょう

こうとう 口頭ので述べる

てんとう 店頭はんばい販売

ねんとう 年頭にあたり――

ねんとう 念頭におく

ばんとう 番頭・でっち

もうとう 毛頭ありません

おんど 音頭をとる

ずじょう 頭上ちゅうい注意

ずつう 頭痛がする

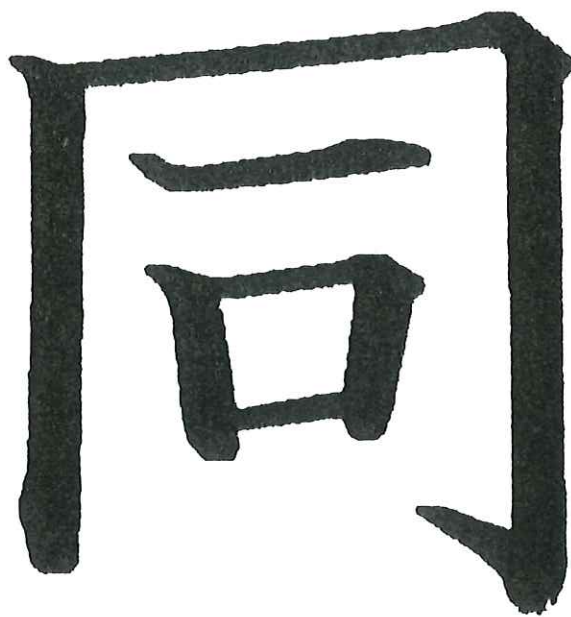
ずのう 頭脳はたらの働き

2  
1  
2  
4



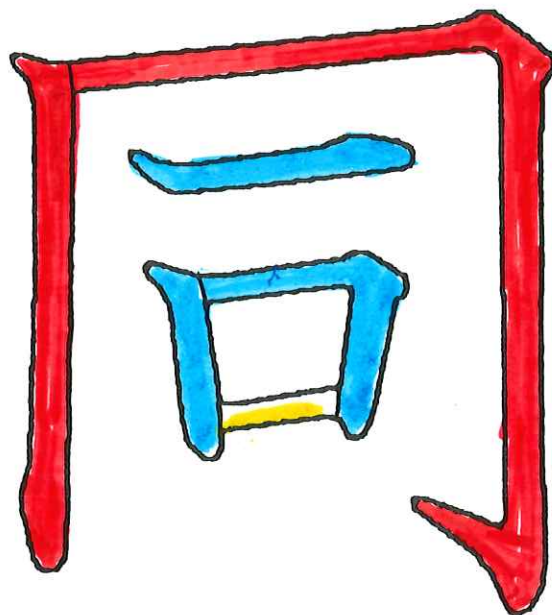
く  
ち

注意  
どうがまえではない



⑥

おな  
(じ)



ド  
ウ



おなじ 同じ<sup>かたち</sup>形  
 おなじ 同じ・<sup>ちが</sup>違う  
 どういつ 同一<sup>じんぶつ</sup>人物  
 どうおん 同音<sup>いぎ</sup>異義語  
 どうか 同化する  
 どうかく <sup>ふたり</sup>二人は同格だ  
 どうかん <sup>わたくし</sup>私も同感です  
 どうがく 同額<sup>ぜい</sup>です  
 どうき 同期生  
 どうきゅう 同級<sup>せい</sup>生  
 どうきょう 同郷のよしみ  
 どうぎょう 同業者  
 どうけん <sup>だんじょ</sup>男女同権  
 どうこう 同好の士  
 どうざい おまえも同罪<sup>ざい</sup>だ  
 どうし 同志<sup>しや</sup>社  
 どうしつ 同室<sup>ゆうじん</sup>の友人  
 どうしゅ 同種・異種<sup>いしゅ</sup>  
 どうしよく 同色・異色<sup>いしよく</sup>  
 どうじ 同時<sup>おこ</sup>に起る  
 どうすう 同数<sup>な</sup>になる

どうせい 同性・異性<sup>いせい</sup>  
 どうせき 同席する  
 どうぜん <sup>し</sup>死んだも同然  
 どうそう 同窓会<sup>かい</sup>に出る  
 どうぞく 同族・血族<sup>けつぞく</sup>  
 どうてん 同点<sup>なる</sup>になる  
 どうとう 同等<sup>けんり</sup>の権利  
 どうねん 同年<sup>れい</sup>令  
 どうびょう 同病<sup>あい</sup>相あわれむ  
 どうめい <sup>わたくし</sup>私と同名<sup>ゆうじん</sup>の友人  
 どうめい 同盟<sup>むす</sup>を結ぶ  
 どうよう 同様<sup>むす</sup>にして  
 どうるい 同類・同種<sup>どうしゅ</sup>  
 どうれつ 同列<sup>なら</sup>に並ぶ  
 いちどう 一同<sup>ず たか</sup>！頭が高い  
 いどう 異同<sup>しら</sup>を調べる  
 きょうどう 協同<sup>くみあい</sup>組合  
 ごうどう 合同<sup>じょうけん</sup>条件



しんみちう

⑫

道

みち

道

みち

みち 道をつける  
 みち 道を歩く

みちじゅん 道順をたずねる  
 みちすじ 道筋にある店

うらみち 裏道をいく  
 こみち 小道をい行けば

さかみち 坂道をのぼる

ちかみち 近道・遠道とおみち  
 すじみち 筋道とおを通す

やまみち 山道をあるを歩く  
 ゆきみち 雪道をころで転ぶ  
 よこみち 横道にそれる  
 よみち 夜道にひは暮れない

どうぐ 仕事しごとは道具しだい次第し  
 どうけ サークスの道化師し  
 どうちゅう 道中をきお氣をつけて  
 どうとく 道徳じかんの時間  
 どうらく 道楽をする  
 どうり 道理でねえ  
 どうろ 道路を浴いに

かいどう 東海道・南海道とう なんかいどう  
 けんどう 県道・国道けんどう こくどう  
 こくどう 国道・県道・市道けんどう しどう  
 しゃどう 車道・歩道ほどう  
 しょくどう 食道・食堂しょくどう  
 しょどう 書道に親ひしむ  
 じんどう 人道・車道

すいどう 上水道・下水道じょう げすいどう  
 せいどう 正道を歩むあゆ  
 せきどう 赤道直下ちよっか  
 だいどう 大道を歩むあゆ  
 ちゅうどう 中道を歩むあゆ  
 てつどう 高速鉄道こうそく  
 でんどう キリスト教の伝道きょう

ほどう 歩道を歩あるく  
 りんどう 林道をつける

しんとう 神道・キリスト教きょう

三讀

⑭

トク・トク・トウ

三讀

よ (ヨ)

よむ	読む・ <small>か</small> 書く	どくしゃ	読者・ <small>さくしや</small> 作者
よまない	読まない	いちどく	一読 <sup>なつどく</sup> 納得
よみ	読み <sup>すす</sup> 進む	ごどく	誤読する
よんだ	読んだ	じゆくどく	熟読する
		せいどく	精読する
		だいどく	代読する
		はいどく	お手紙 <sup>てがみ</sup> 拝読
よみかた	読み方 <sup>れんしゅう</sup> の練習	ひつどく	必読 <sup>しよ</sup> 書
よみもの	読み物	みどく	味読 <sup>あじ</sup> する
		りんどく	輪読 <sup>りん</sup> 会
		ろうどく	朗読 <sup>そどく</sup> ・素読
		とくほん	<sup>こくご</sup> 国語読本
		とうてん	読点 <sup>くてん</sup> ・句点
		くとう	句読 <sup>てん</sup> 点

2  
1  
2  
7

内 いる

内

④

うち

内

ナイ・ダイ

うち 内と外

うちうち 内内はなしの話

うちがわ 内側そとがわ・外側

うちき 内気おとこ こな男の子

うちきん 内金おさを納める

うちまく 内幕そとまごをあばく

うちまご 内孫・外孫

うちわ 内輪のもめごと

うちわけ 内訳

ないか 内科げ か・外科

ないかい 内海がい がい・外海

ないかく 内角がい かく・外角

ないかく 内閣こっかい・国会

ないがい 内外ともに

ないしょく 内職ほんしょく・本職

ないしん 内心では—なのだが

ないしん 内申じ書かに書く

ないぞう

ないち

ないつう

ないてい

ないぶ

ないめん

ないや

ないよう

ないりく

内臓ぞうぶつ・臓物

内地がいち・外地

内通する

内定する

内部がいぶ・外部

内面がいめん・外面

内野がいや・外野

内容おしを教ええる

内陸ちたい地帯

域内いきがい・域外

以内い がい・以外

屋内おくがい・屋外

家内つま=妻

区内がっこうの学校

県内けんがい・県外

構内こうない・構内

国内こくがい・国外

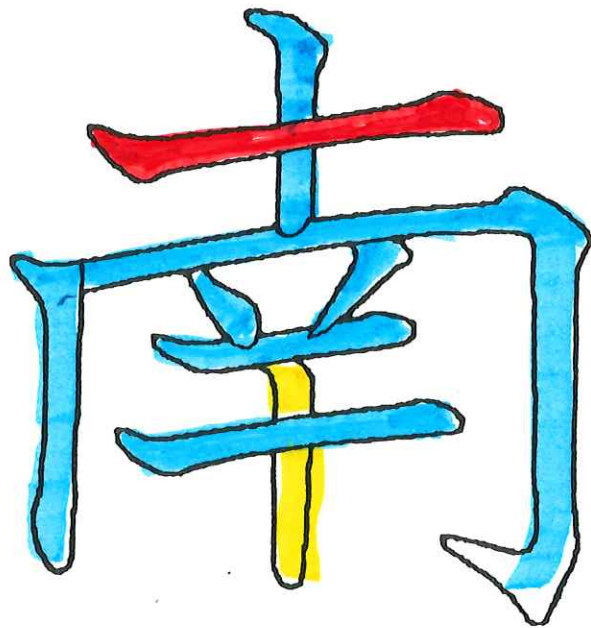


みなみ

南

⑨

みなみ



ナン・ナ



みなみ

南きたと北

なんかい

南海らくえんの楽園

なんがん

南岸ほくがん・北岸

なんきよく

南極たんけん探検

なんごく

南国あたたは暖かい

なんちゅう

南中する

なんぶ

南部ほくぶ・北部

なんべい

南米ちゅうべい・中米・北米ほくべい

なんぼく

南北はしに走みちる道

なんぽう

南方ほっぽう・北方

なんめん

南面じめん・地面

なんよう

南洋ほくよう・北洋

せいなん

西南とうなん・東南

肉 ニク

肉

⑥

肉

ニク

ニ  
IX

にくあつ	肉厚 <small>のなべ</small>
にくがん	肉眼 <small>で見る</small>
にくしつ	肉筆 <small>の手紙</small>
にくしよく	肉食・菜食 <small>さいしよく</small>
にくしん	肉親 <small>のこえ</small>
にくせい	肉声 <small>を聞き</small>
にくたい	肉体 <small>とせいしん</small>
にくや	肉屋・魚屋 <small>さかなや</small>
にくるい	肉類・野菜類 <small>やさいるい</small>
いんにく	印章・印肉 <small>いんしょう</small>
かにく	果肉・果实 <small>かじつ</small>
きんにく	筋肉 <small>りゅうりゅう</small> 隆々
ぎゅうにく	牛肉・ブタ肉 <small>にく</small>
こつにく	骨肉 <small>のあらそい</small>
ひにく	皮肉 <small>をいう</small>

2130

馬

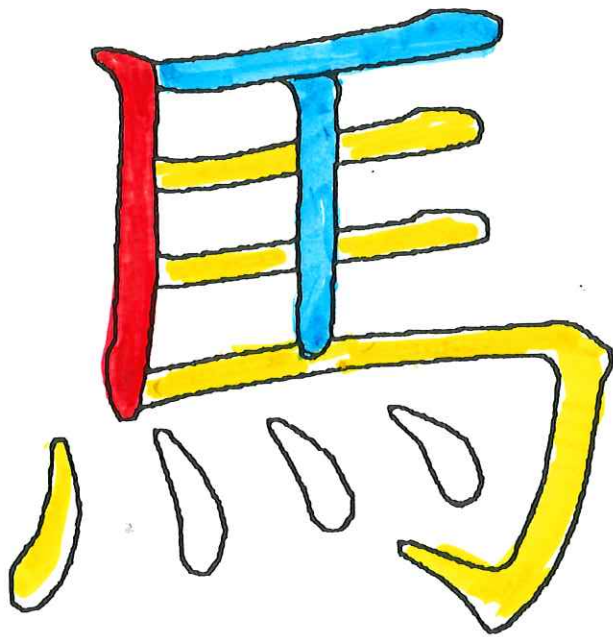
うま

馬



うま

・  
(ま)



ハ

うま 馬<sup>うし</sup>・牛・ネコ  
 うま 馬<sup>の</sup>に乗る  
 うまいち 馬市<sup>うま</sup>で馬<sup>う</sup>を売る  
 たけうま 竹馬<sup>の</sup>に乗る  
 たねうま 種馬<sup>たねうし</sup>・種牛  
 はやうま 早馬<sup>し</sup>で知らせる

ばぐ 馬具<sup>をつける</sup>  
 ばじゅつ 馬術<sup>きょうぎ</sup>競技  
 ばじょう 馬上<sup>ゆたかに</sup>  
 ばりき 馬力<sup>だ</sup>を出す  
 あいば 愛馬<sup>あいけん</sup>・愛犬<sup>だん</sup>  
 きよくば 曲馬<sup>だん</sup>団  
 ぎゅうば 牛馬<sup>のごとく</sup>  
 けいば 競馬<sup>けいりん</sup>・競輪  
 げば 下馬<sup>する</sup>  
 じょうば 乗馬<sup>らくば</sup>・落馬<sup>らくば</sup>  
 じんば 人馬<sup>いったい</sup>一体  
 ちくば 竹馬<sup>とも</sup>の友  
 てんま 天馬<sup>そら</sup>空<sup>を</sup>をゆく  
 へいば 兵馬<sup>いったい</sup>一体  
 めいば 名馬<sup>あつ</sup>を集める  
 らくば 落馬<sup>する</sup>  
 えま 絵馬<sup>ほうのう</sup>を奉納

売

ウ

売

⑦

う  
(る)

売

バイ

うる 売<sup>る</sup>・買<sup>う</sup>  
 うらない 売<sup>ら</sup>ない  
 うりね 売<sup>り</sup>値<sup>ね</sup>・買<sup>い</sup>値<sup>ね</sup>

ばいか 売<sup>価</sup>・原<sup>価</sup>  
 ばいてん 売<sup>店</sup>キオスク  
 ばいばい 売<sup>買</sup>する  
 ばいめい 売<sup>名</sup>行<sup>為</sup>  
 ばいやく 売<sup>約</sup>済<sup>ずみ</sup>  
 きょうばい 競<sup>売</sup>に<sup>か</sup>ける  
 しょうばい 商<sup>売</sup>す<sup>る</sup>  
 とくばい 特<sup>売</sup>場<sup>じょう</sup>

2  
1  
3  
2

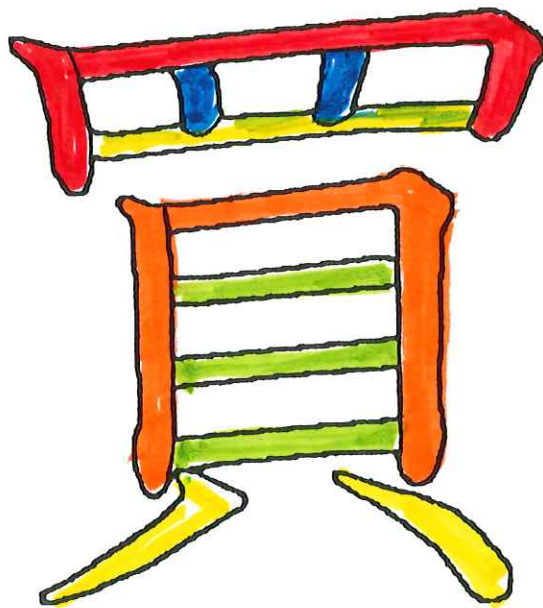


か  
い



⑫

か  
(う)



ハ  
イ



かう 買う・う売る  
かわない 買わない  
かった 買った  
かいます 買います  
  
かいもの 買い物  
かいね 買い値・う売りね値

ばいか 買価  
ばいしゅう 買収する

麦 ハク

麦

⑦

ハク

麦

ハク

むぎ 麦・<sup>こめ</sup>米・<sup>とうもろこし</sup>

ばくが 麦芽<sup>とう</sup>糖

せいぼく 精麦・<sup>せいまい</sup>精米

むぎちゃ 麦茶<sup>の</sup>を<sup>飲む</sup>

むぎばたけ 麦畑・<sup>はなばたけ</sup>花畑

むぎふえ 麦笛<sup>を</sup>吹<sup>く</sup>

むぎめし 麦飯<sup>は</sup>嫌<sup>わ</sup>れた

むぎゆ 麦湯<sup>を</sup>飲<sup>む</sup>

こむぎ 小麦・<sup>おおむぎ</sup>大麦

おおむぎ <sup>こむぎ</sup>小麦・大麦

2  
1  
3  
4

半

ハ  
ン

半

⑤

なか(ば)

半

ハ  
ン

なかば 半ば を過ぎる

はんえん 半円 ぜんえん 全円

はんおん 半音 ぜんおん 全音

はながく 半額 ぜんがく 全額

はんき 半旗 をあげる

はんき 半期 いちど 一度

はんぎゅう 半球 ぜんきゅう 全球

はんけい 半径 ちよっけい 直径

はんし 半紙

はんしゅう トラックを半周する

はんしん 上半身 じょう 上 かはんしん 下半身

はんじゆく 半熟 たまご 卵

はんすう 半数 こ 超える

はんとう 紀伊半島 きい

はんとし 北極の半年 ほっきょく 北極 よる 夜

はんぶん 半分 ぜんぶ 全部

はんめん 半面 はんめん 反面

かはん 過半数 こ 超える

こうはん 後半 ぜんはん 前半  
 たいはん 大半 ひと 一人 さんせい 賛成  
 やはん 夜半 あめかせ 雨風

2  
1  
3  
5

采  
田

た

采  
田

⑫

采  
田

た

ばん	番 <small>まわ</small> が回ってくる	いちばん	一 <small>はや</small> 番 <small>れっしや</small> 速い列車
		けつばん	<small>えいきゆう</small> 永久 欠番
ばんぐみ	テレビの番組	こうばん	交番 <small>とど</small> に届ける
ばんけん	番犬 <small>ドーベルマン</small>	しゅうばん	週番 <small>とうばん</small> ・当番
ばんごう	番号 <small>をうつ</small>	じゅんばん	順番 <small>まつ</small> を待つ
ばんだい	番台 <small>にすわる</small>	ちゃばん	それは茶番 <small>げき</small> 劇だ
ばんち	<small>いっちょうめいち</small> 一丁目番地	とうばん	当番 <small>ひばん</small> ・非番
ばんづけ	すもうの番付表	はやばん	早番 <small>おそばん</small> ・遅番
ばんとう	番頭 <small>でっち</small>	ひばん	非番 <small>とうばん</small> ・当番
ばんにん	番人 <small>ばんけん</small> ・番犬	みせばん	店番 <small>をする</small>
ばんぺい	番兵 <small>ばんけん</small> ・番犬	もんばん	門番 <small>もんえい</small> ・門衛
		りんばん	輪番 <small>せいど</small> 制度

2  
1  
3  
6

父 ちち

父

④

ちち

父

フ



ちち

父ははと母

ちちうえ

父上ははうえ・母上

ちちおや

父親ははおや・母親

ふけい

父兄かい会

ふけい

父系ほけい・母系けい

ふし

父子ほし・母子し

ふそ

父祖ちの地

ふぼ

父母おんの恩

ぎふ

義父ぎ・義母ほ

ぼうふ

亡父ぼう・亡母ほ

ようふ

養父よう・養母ほ

げんふ

嚴父じ・慈母ほ

しんぷ

カトリック神父

じっふ

実父じつ・実母ほ

風 かぜ

風

⑨

かぜ・かざり

風

フウ・フ

かぜ 風ふが吹く

あきかぜ 秋風あきかぜがたつ

あさかぜ 朝風あさかぜ・夕風ゆふかぜ

あめかぜ 雨風あめかぜをしのぐ

きたかぜ 北風きたかぜ・南風みなみかぜ

しおかぜ 潮風しおかぜに吹かれる

なみかぜ 波風なみかぜをたてる

にしかぜ 西風にしが強い

ゆうかぜ 夕風ゆうかぜ・朝風あさかぜ

よかぜ 夜風よかぜが身にしみる

かざかみ 風上かざしも・風下かざしも

かざしも 風下かざしもにまわる

かざみ 風見どり

ふうあつ 風圧ふうあつで飛ばされる

ふうう 風雨ふううが激はげしくなる

ふうか 岩石がんせきが風ふうイヒする

ふうかく 風格ふうかくがある

ふうけい 美しい風景ふうけい

ふうしゃ 風車ふうしゃで水みずをあげる

ふうせん 風船ふうせんを飛ばす

ふうそく 風速ふうそく50m

ふうぞく 風俗ふうぞく・習慣しゅうかんのちが違い

ふうど 風土ふうどのちが違い

ふうみ 風味ふうみが落ちる

ふうりゅう 風流ふうりゅうな人ひと

ふうりよく 風力ふうりよく3

ふぜい 風情ふぜいがなな無い

かいふう 海風かいふう・陸風りくふう

かふう 家風かふうにあわあない

がふう 画風がふう・書風しょふう・作風さくふう

きょうふう 強風きょうふう注意報ちゅういほう

ぎゃくふう 逆風ぎゃくふう・順風じゅんふう

こうふう 校風こうふうが好すき

こくふう 国風こくふう文化ぶんか

こふう 古風こふうな人ひと

さくふう 作風さくふう・書風しょふう・画風がふう

しょうふう 書風しょうふう・画風がふう

せいふう 清風せいふう中学ちゅうがく

2  
1  
3  
8

分

かたな

分

④

わ  
(ける)

分

ブ  
ン  
・  
フ  
ン  
・  
ブ

わかる	分ける	えんぶん	塩分 <small>が多い</small>
わけます	分けます	おやぶん	親分・子分
わかる	分かる	きぶん	気分 <small>が悪い</small>
わからない	分からない	しゅうぶん	秋分 <small>の日</small>
ぶんしん	分針 <small>・秒針</small>	しゅんぶん	春分 <small>の日</small>
ふんどう	分銅 <small>をのせる</small>	しょうぶん	性分 <small>だから</small>
ぶんべつ	分別 <small>ある態度</small>	じぶん	自分・他人
		じゅうぶん	十分 <small>あります</small>
		すいぶん	水分 <small>を含む</small>
ぶんかい	分解 <small>・合成</small>	すんぶん	寸分 <small>狂わず</small>
ぶんかつ	分割 <small>する</small>	せいぶん	成分 <small>を調べる</small>
ぶんし	分子 <small>・分母</small>	せつぶん	節分 <small>の豆まき</small>
ぶんすう	分数 <small>・小数・整数</small>	たぶん	多分 <small>そうでしょう</small>
ぶんたん	分担 <small>する</small>	てんぶん	天分 <small>がある</small>
ぶんぱい	分配 <small>法則</small>	とうぶん	当分 <small>の間</small>
ぶんや	分野 <small>同じ</small>	とうぶん	2等分 <small>・3等分</small>
ぶんりょう	分量 <small>をはかる</small>	とうぶん	糖分 <small>は少な目です</small>
ぶんるい	分類 <small>する</small>	なにぶん	何分 <small>よろしく</small>

2  
1  
3  
9

聞

みみ

注意

もんがまえ ではない

聞

⑭

き  
(く)

聞

ブン・(モン)

きく 聞く・はな話す  
 きかない 聞かない  
 ききます 聞きます  
 ききました 聞きました  
 ききません 聞きません  
 きいた 聞いた

がいぶん 外聞わるが悪い  
 きゅうぶん 旧聞ぞくに属する  
 けんぶん 見聞ひろを広める  
 しんぶん 新聞・テレビ  
 たぶん 他聞をはばかり  
 でんぶん 伝聞 [……と聞く]  
 ないぶん どうぞご内聞に  
 ひゃくぶん 一見いっけんは百聞ににしかず  
 ふうぶん 風聞によによると

2  
1  
4  
0

米

こめ

米

⑥

こめ

米

こ  
め  
こ  
め

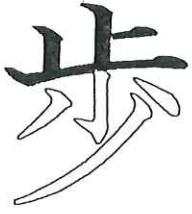


こめ 米を<sup>た</sup>食<sup>べ</sup>る  
 こめぐら 米蔵<sup>こめ</sup>の米  
 こめだわら 米俵<sup>こめ</sup>の米  
 こめどころ 北陸<sup>ほくりく</sup>は米所  
 こそめ 小米<sup>こめ</sup>を食<sup>べ</sup>る

べいえい 米英<sup>にちべい</sup>・日米  
 べいか 米価<sup>お</sup>すえ置<sup>き</sup>  
 べいこく 米国<sup>ちゅうごく</sup>・中国  
 べいこく 米穀<sup>しやう</sup>商  
 べいさく アジアの米作  
 べいしょく アジアは米食  
 べいはん 米飯<sup>きゅうしょく</sup>給食

がいまい 外米<sup>た</sup>を食<sup>べ</sup>る  
 しんまい 新米<sup>た</sup>を食<sup>べ</sup>る  
 せいまい 精米<sup>せいばく</sup>・精麦  
 はくまい 白米<sup>げんまい</sup>・玄米

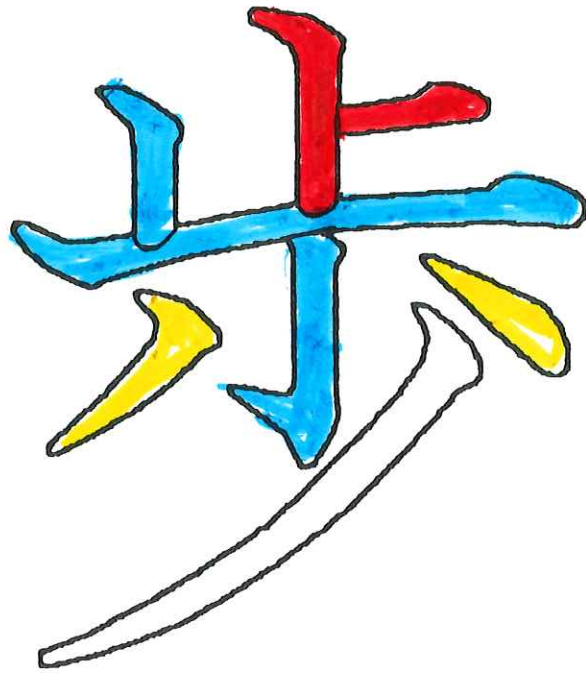
ちゅうべい 中米<sup>ほくべい</sup>・北米<sup>なんべい</sup>・南米  
 なんべい 南米<sup>ちゅうべい</sup>・中米<sup>ほくべい</sup>・北米  
 にちべい 日米<sup>べいこく</sup>・米国



とめる



⑧



ホ・ブ・フ

あ(るく)・あゆ(む)

あるく 歩く・はしる  
あるかない 歩かない

あるきます 歩きます  
あるきません 歩きません

あるいた 歩いた

あゆむ 歩む

ぶあい 歩合きゅう給

ひふ 日歩いちりん一厘=つきさんぶ月3分

ほこう 歩行くんれん訓練  
ほそく 歩測もくそく・目測そくりよ・測量

ほちょう 歩調をあわせる

ほどう 歩道あるを歩く  
ほへい 歩兵・騎兵きへい

きょうほ 競歩きょうそう・競争

さんぽ 散歩する

しょほ 初歩から

たいほ 退歩する

とほ 徒歩いで行く  
ゆうほ 遊歩どう道

2  
1  
4  
2

母 は  
は

母

⑤

は  
は

5

母

ホ

かあさん お母さん

はは 母ちちと父

ははうえ 母上ちちうえ・父上

ははおや 母親ちちおや・父親

ははかた 母方そふの祖父

ははぎみ 母君ちちぎみ・父君

おもや 母屋をとられる

ぼいん

ぼけい

ぼこう

ぼこう

ぼこく

ぼし

ぼせい

ぼせん

ぼたい

ぼどう

ぼにゅう

いぼ

じつぼ

せいぼ

せいぼ

ふぼ

ほぼ

ようぼ

うば

母音しいん・子音

母系

母校たずを訪ねる

母港かえに帰る = 帰港きこう

母国にもどる

母子ふし・父子

母性ほんのう・本能

母船せんだん式船団

母体ほご保護

ご母堂

母乳そだで育てる

異母きょうだい

実母じつふ・実父

生母ようぼ・養母

聖母マリア

父母おんの恩

保母さん

養母ようふ・養父

乳母そだに育てられる

2  
1  
4  
3

方 ほう

方

④

かた

方

ほう

かた どちらの方ですか  
 かた あちらの方  
 かたほう 片方・両方

うらかた 裏方に徹する  
 おやかた 親方になる  
 しかた 仕方がない  
 ははかた 母方の祖父  
 みかた 見方を変える  
 みかた 味方する

あさがた 朝方・夕方  
 かみがた 上方落語  
 ばんがた 晩方・朝方  
 ゆうがた 夕方・朝方

ほうい 八方位  
 ほうがく 方角ちがい  
 ほうけい 正方形・長方形

ほうげん 方言で話す  
 ほうこう 方向をまちがう  
 ほうしき ○○方式  
 ほうしん 方針を決める  
 ほうべん ウソも方便  
 ほうほう 方法がない  
 ほうぼう 方方に出かける

ほうめん 東京方面

かいほう 快方にむかう  
 しほう 四方八方  
 たほう 一方・他方  
 ちほう 地方・中央  
 へいほう 平方メートル

りょうほう 両方とも

えんぽう 遠方より来る  
 はっぽう 八方ふさがり

2  
1  
4  
5

毎

は  
は

毎

⑥

毎

マ  
イ



まいあさ	毎朝・ <small>まいゆう</small> 毎夕
まいかい	毎回 <small>で</small> 出る
まいしゅう	<small>まいにち</small> 毎日・毎週
まいじ	毎時60キロ
まいつき	<small>まいにち</small> 毎日・毎月
まいとし	<small>まいしゅう</small> 毎週・毎年
まいど	毎度ありがとうございます
まいにち	毎日・ <small>まいしゅう</small> 毎週・ <small>まいつき</small> 毎月
まいばん	毎晩・ <small>まいあさ</small> 毎朝
まいびょう	毎秒50mの <small>しんかんせん</small> 新幹線
まいゆう	毎夕・ <small>まいあさ</small> 毎朝
まいよ	毎夜 <small>ば</small> お化けが <small>で</small> 出る

2  
1  
4  
4

北<sup>ひ</sup>

北

⑤

きた

北

ホク

きた 北<sup>みなみ</sup>・南  
 きたかぜ 北風<sup>みなみかぜ</sup>・南風  
 まきた 真北<sup>ま</sup>・真南<sup>みなみ</sup>

ほくしん 北進<sup>なんしん</sup>・南進<sup>なんしん</sup>  
 ほくじょう 北上<sup>なんか</sup>・南下<sup>なんか</sup>  
 ほくぶ 北部<sup>なんぶ</sup>・南部<sup>なんぶ</sup>  
 ほくめん 北面<sup>なんぶ</sup>の<sup>ぶ</sup>武士<sup>し</sup>  
 ほくよう 北洋<sup>なんよう</sup>・南洋<sup>なんよう</sup>

ほっかい 北海<sup>ゆでん</sup>の<sup>ゆでん</sup>油田<sup>ゆでん</sup>  
 ほっきょく 北極<sup>なんきょく</sup>・南極<sup>なんきょく</sup>  
 ほっぽう 北方<sup>なんぽう</sup>・南方<sup>なんぽう</sup>

せいほく 西北<sup>とうほく</sup>・東北<sup>とうほく</sup>

なんぼく 南北<sup>なんぼく</sup>にとおる<sup>みち</sup>道<sup>みち</sup>  
 はいほく 敗北<sup>しょうり</sup>・勝利<sup>しょうり</sup>

妹

おんなへん

妹

⑧

いもつと

妹

マイ

2146 妹

いもうと 妹<sup>おとうと</sup>・弟<sup>あね</sup>  
いもうと 妹<sup>あね</sup>・姉<sup>おとうとぶん</sup>  
いもうとぶん 妹<sup>おとうとぶん</sup>分<sup>弟分</sup>

しまい 姉妹<sup>ていまい</sup>・弟妹<sup>ていまい</sup>  
ていまい 弟妹<sup>しまい</sup>・姉妹<sup>しまい</sup>

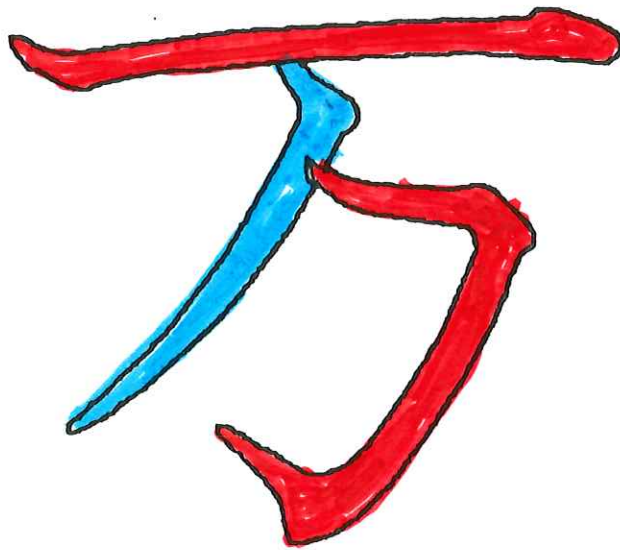
2  
1  
4  
7



いち  
いち



③



一  
二  
三  
四

まんいち 万一<sup>ばあい</sup>の場合は  
まんびょう かぜは万病<sup>ばんびょう</sup>のもと  
おくまん 億万<sup>ちようじや</sup>長者  
ひゃくまん 百万<sup>みかた</sup>の味方  
ばんかん 万感<sup>むね</sup>胸にせまる  
ばんさく 万策<sup>ばんさく</sup>つきる  
ばんしょう <sup>しんら</sup>森羅万象  
ばんしょう 万障<sup>くりあわせてのうえ</sup>  
ばんじ 万事<sup>よろしく</sup>  
ばんせい 万世<sup>いっけい</sup>一系  
ばんぜん 万全<sup>じゅんび</sup>の準備  
ばんなん 万難<sup>はい</sup>を排して  
ばんにん 万人<sup>むき</sup>向き  
ばんのう 万能<sup>ひと</sup>の人  
ばんぱく 万博<sup>かいじょう</sup>会場  
ばんぶつ 万物<sup>れいちよう</sup>の靈長

明

ひら

明

⑧

あ(かり)・あき(らか)  
あか(るい)

明

メイ・ミヨウ



- あかるい 明るい・くら暗い
- あかるくない 明るくない
- あきらか 明らかになる
- めいあん 明暗を分ける
- めいかい 明解こくご国語辞典
- めいかく 明確・ふたし不確か
- めいげつ 明月いけや池をめぐりて
- めいさい 明細しよ書を見てびくり
- めいさつ ご明察
- めいしょく 明色・あんしよく暗色
- めいど 明度・さいど彩度
- めいはく 明白じじつな事実
- めいろう 明朗ひとな人
- きゅうめい 原因げんいんを究明せうめいする
- こうめい 公明正大
- しつめい 失明する
- しょうめい 照明する
- しょうめい 証明する
- じめい 自明のことだ
- せいめい 声明はっぴょうを发表
- ひょうめい 意見いけんを表明ひょうめいする
- ふめい 5人ごにんが行方不明ふくえ
- ぶんめい エジプト文明
- へいめい 平明ふんしょうな文章
- みめい 深夜しんやから未明みめいにかけて
- みょうしゅん 明春・らいしゅん来春
- みょうじょう 宵の明星よい
- みょうちょう 明朝はや早く出発しゅっぱつします
- みょうにち 明日から
- みょうばん 明晩・こんばん今晚・さくばん昨晚
- こうみょう 光明みいだを見出す
- とうみょう 灯明をあげる
- あす 明日から

鳴 とり

鳴

⑭

な (く)

鳴

メイ

2149 鳴

なく 鳴く・鳴かない

なかない 鳴かない

なきます 鳴きます

なきません 鳴きません

なきごえ 鳴き声

めいどう <sup>たいざん</sup>大山 <sup>ねずみいっぴき</sup>鳴動 鼠一匹

ひめい 悲鳴をあげる

2  
1  
5  
0

毛<sup>け</sup>

毛

④

け

毛

毛ウ

け	毛	もうこん	毛根・ひふ
		もうとう	毛頭ありません
		もうひつ	毛筆・ <small>もうふ</small> 毛布
		もうふ	毛布 <small>くぼ</small> を配る
けはえ	毛生え <small>ぐすり</small> 薬	うもう	羽毛ふとん
けいと	毛糸 <small>たま</small> の玉	こんもう	根毛 <small>みず</small> から <small>す</small> 水を吸う
けいろ	毛色 <small>か</small> の変わった	じゅんもう	純毛 <small>もうふ</small> の毛布
けがわ	毛皮 <small>き</small> を着る	ふもう	不毛 <small>とち</small> の土地
けむし	毛虫 <small>きら</small> は嫌い	みけ	三毛ネコのオス
はなげ	鼻毛 <small>ぬ</small> を抜く	ようもう	羊毛・ <small>もうふ</small> 毛布
わたげ	綿毛 <small>と</small> が飛ぶ		

門

もん  
かまえ

門

⑧

かど

門

モン

かど 門まに立たって待まつ  
 かどぐち 門ま口たに立たって待まつ  
 かどで 門出いを祝いわう  
 かどまつ 門松をたてる

もんえい 門衛もんぼん・門番  
 もんか 門下せい生せい  
 もんがい 門外ふしゅつ不ふ出しゅつ  
 もんげん 門限 1 1時じ  
 もんご 門戸をひらく  
 もんし 門齒けんし・犬齒きゅうし・臼齒  
 もんじん 門人もんてい・門弟  
 もんぜん 門前いち市をなす  
 もんちゅう 門柱をたてる  
 もんてい 門弟もんじん・門人  
 もんと 門徒しんと・信徒きょうと・教徒  
 もんとう 門灯をつける  
 もんばん 門番もんえい・門衛

いちもん 一門いのほまれ  
 うらもん 裏門おもてもん・表門  
 かもん 家門ほまの誉ほまれ  
 かんもん 関門とおをぬ通ぬり抜ぬける  
 さんもん 山門ひらを開ひらく  
 じょうもん 城門あを開あける  
 すいもん 水門あを開あける  
 せいもん 正門はいから入はいる  
 せんもん せんもん  
 ぶつもん 専門か家  
 ぶもん 仏門いに入いる  
 めいもん 武門ほまの誉ほまれ  
 名門での出でです

夜

ゆうべ

夜

⑧

よ・よる

夜

ヤ



よる 夜ひると昼  
よるひる 夜昼と問わず  
よかぜ 夜風みが身にしみる  
よぎ 夜着ををかぶる  
よぞら 夜空ををこがすかじ火事  
よなか 夜中まで仕事しごとする  
よなが 秋あきの夜長  
よみせ 夜店でに出かける  
よみち 夜道に日は暮れぬ  
よめ 夜目とおめ遠目かさ笠のうち

つきよ 月夜ばんの晩  
まいよ 毎夜お化けでが出る

やかん 夜間ちゅうがく中学  
やがく 夜学かよに通う  
やきん 夜勤  
やぐ 夜具ととのを調える  
やけい 夜景みを見る  
やけい 夜警にたつ  
やこう 夜光とりょう塗料  
やこう 夜行せい性の動物  
やしよく 夜食のラーメン  
やぶん 夜分にすみません

こんや 今夜・昨夜  
さくや 昨夜こんや・今夜  
しゅうや 終夜うんてん運転  
しんや 深夜まで  
じょや 除夜かねの鐘  
ちゅうや 昼夜とを問わず  
つや お通夜ばんの晩  
にちや 日夜が**ん**ばる  
びゃくや 白夜

野子 たごへん

野



の

野子

ヤ

の 野に咲く花  
 のじゆく ここに野宿する  
 のてん 野天プロ  
 のはら 野原で遊ぶ  
 のべ 野辺の送り  
 のみち 野道を行けば  
 のやま 野山を駆ける  
 のら 野良ネコ

やがい 野外おんがくどう 音楽堂  
 やきゅう 野球きゅうじょう 球場  
 やけん 野犬・のらねこ  
 やさい 野菜さんさい 山菜  
 やしん 野心がある  
 やせい 野性味のある  
 やせいぶつ 動物 野生どうぶつ 動物・野性動  
 やちょう 野鳥かい 会  
 やとう 野党にまわる  
 やぼう 野望をいただく  
 がいや 外野ないや 内野  
 げんや 原野かいたく 開拓  
 こうや 広野い 行く  
 さんや 山野をかけめぐる  
 しや 視野い 入れる  
 ないや 内野がいや 外野  
 ぶんや 分野おな 同じ  
 へいや 平野こうげん 高原

友

また

友

④

とも

友

ユウ

とも 友 あそ  
と遊ぶ

ともだち 友達 とあそぶ

ゆうあい 友愛

ゆうぐん 友軍 たす  
の助け

ゆうこう 友好 てき  
的な

ゆうじょう 友情

ゆうじん 友人 あそ  
と遊ぶ

あくゆう 悪友 にさそわれて

がくゆう 同学友

きゅうゆう 級友 あそ  
と遊ぶ

きゅうゆう 旧友 あ  
に会う

こうゆう 交友 かんけい  
関係

しんゆう 親友 かれ  
彼は です

りょうゆう 良友・悪友 あくゆう

用

もちいる

用

⑤

もち(いる)

用

ヨウ

もちいる 用いる = 使う

もちいない 用いない

ようい 用意する

ようぐ 用具をととのえる

ようけん 要件を言う

ようご 算数用語

ようし 画用紙

ようじ 用事がある

ようじん 用心する

ようすい 防火用水

ようひん 日用品

ようむ 用務員さん

ようりょう 薬の用量

あくよう 悪用する

いんよう 飲用にする水

かんよう 慣用語句

きゅうよう 急用がある

きよう 器用・不器用

こうよう 薬の効用

さいよう ~を採用する

さよう 作用する

ざつよう 雑用で忙しい

しゃくよう 無断借用する

しょくよう 食用にする

しょう 使用中

しょう 私用・公用

しんよう 信用する

じつよう 実用になる

じょうよう 常用漢字

せいしん 女子専用

だいよう ~で代用する

つうよう 通用門から入る

とうよう ~を登用する

どよう 土用の丑の日

にゅうよう 入用・無用

ひよう 費用がかかる

むよう 心配ご無用

やくよう 薬用クリーム

よくよう 浴用石けん

りょうよう 水陸両用自動車

2  
1  
5  
6

曜

ひ  
へん

曜

18

曜

ヨウ



ようび きょう 今日は何曜日

にちよう ひ 日曜日・お日さま

げつよう つき 月曜日・お月さん

かよう かせい 火曜日・火星

すいよう すいせい 水曜日・水星

もくよう もくせい 木曜日・木星

きんよう きんせい 金曜日・金星

どよう どせい 土曜日・土星

しちよう ひょう 七曜表

(よ じゅん 読み順ではない)

来き

来

⑦

く(る)・きた(る)

来

ライ

くる	来る	いらい	その時 <sup>とき</sup> 以来
		えんらい	遠来 <sup>きやく</sup> の客
きた	来た	おうらい	往来 <sup>さか</sup> が盛ん
きます	来ます	がいらい	外来 <sup>かんじゃ</sup> 患者
		がんらい	元来 <sup>がじょうぶ</sup>
		きゅうらい	旧来 <sup>しゅうかん</sup> の習慣
こい	来い	きょらい	むねに去来する
こない	来ない	きんらい	近来ないこと
		けらい	家来 <sup>しゅじん</sup> ←→主人
		こらい	古来まれなり
らいい	来意 <sup>つ</sup> を告げる	ざいらい	在来 <sup>しんかんせん</sup> 線・新幹線
らいきやく	来客 <sup>ちゅう</sup> 中なので	しょうらい	将来 <sup>わかもの</sup> ある若者
らいげつ	来月 <sup>せんげつ</sup> ・先月	じゅうらい	従来 <sup>から</sup>
らいこう	客船 <sup>きやくせん</sup> が来航する	でんらい	外国 <sup>がいこく</sup> 伝来
らいしゅう	来週 <sup>せんしゅう</sup> ・先週	ねんらい	年来の問題
らいしゅん	来春 <sup>らいしゅう</sup> ・来秋	ほんらい	本来 <sup>ちから</sup> の力
らいじょう	ご来場 <sup>のみなさん</sup>		過去 <sup>かこ</sup> ・現在 <sup>げんざい</sup> ・未来 <sup>みらい</sup>
らいちょう	来朝 <sup>らいにち</sup> ・来日	みらい	夜来 <sup>ふうう</sup> 風雨の声
らいてん	ご来店 <sup>ありがとうございます</sup>	やらい	由来 <sup>しら</sup> を調べる
らいにち	来日 <sup>らいちよう</sup> ・来朝	ゆらい	
らいねん	来年 <sup>ことし</sup> ・今年		

里

さと

里

⑦

さと

里

り

2158 里

さと 里<sup>あき</sup>の秋

かいり 一海里<sup>いちかい</sup>は18521m

さとおや 里親<sup>りしん</sup>になる

きょうり 郷里<sup>きょうり</sup>に帰る

さところ 里心<sup>りしん</sup>がつく

ひとざと 人里<sup>はな</sup>離れたところ

むらざと 村里<sup>はな</sup>離れたところ

やまざと 山里<sup>かくす</sup>に隠れ住む

理 おうへん

理



理

り

りか 理科 しゃかい・社会  
 りせい 理性的 てきにふるまう  
 りそう 理想 てき的 しゃかいな社会  
 りち 理知 てき的 かおな顔  
 りひ 理非 まが曲直  
 りゆう 理由 をきく  
 りよう 理容 = 散髪 さんぱつ  
 りろん 理論 じっさいと実際

いちり それも一理ある  
 かんり 管理 する  
 ぎり 義理 にんじょうと人情  
 けいり 経理 たんとうを担当する  
 げんり 原理 わが分かる  
 ごうり 合理 てき的 かんがな考え  
 しゅうり 自動車 じどうしゃの修理  
 しんり 心理 せいり・生理  
 せいり 生理 しんり・心理  
 だいら おや親の代理  
 ちょうり 調理 = 料理 りょうり  
 ちり 地理 れきし・歴史  
 ていり 定理 はっけんを発見  
 どうり 道理 でねえ  
 びょうり 病理学 がく  
 べんり 弁理士  
 むり それは無理です  
 りょうり 料理 する  
 ろんり 論理 ちよっかん・直観

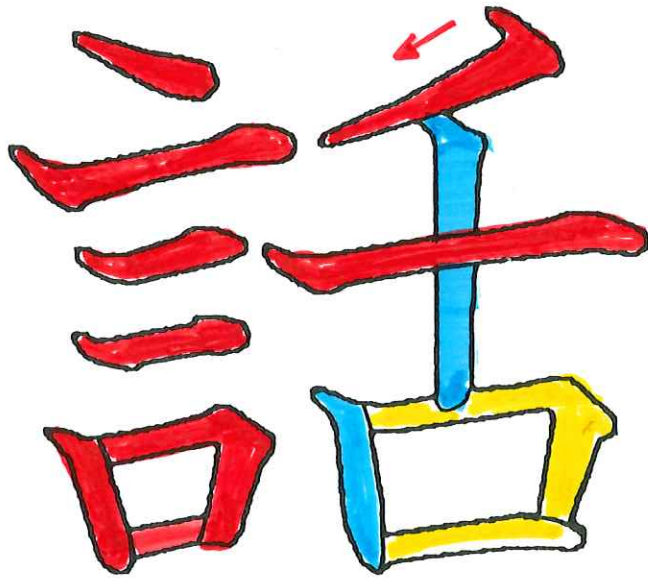


話

話

⑬

はなし・はな(す)



ワ



はなし 話を聞く

はなす 話す

はなさない 話さない

はなします 話します

はなしません 話しません

うらばなし 裏話をきく

こばなし 小話をする

ながばなし 長話をする

むかしばなし 昔話を読む

わじゅつ

わだい

こうわ

さわ

じつわ

せつわ

たいわ

だんわ

つうわ

でんわ

どうわ

ひわ

みんわ

話術を磨く

話題が多い

講話

茶話会かい

実話に基づく

仏教 説話ぶっきょう

対話する

談話・対談たいだん

一通話じゅうえん 十円

長電話なが をする

童話えほん の絵本

湖の悲話みずうみ

民話あつ を集める

